



令和7年8月18日

担当課	都市再生課
担当者	中野 西本
電話	073-435-1048
内線	(2990)

独立行政法人都市再生機構の市長表敬訪問について

**まちなかで全国初！「インフラゼロハウス」を活用した災害対応、
環境配慮推進、地域活性化・コミュニティ形成に資する実証実験を開始**

和歌山市と独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）は、令和6年4月1日に更新締結した「和歌山市における新しいまちづくりの推進に関する基本協定書」に基づき、和歌山市における新しいまちづくりを協働で推進しています。

UR都市機構は、新たな取り組みとして、官民連携まちづくりに積極的に取り組む和歌山市において実施する「インフラゼロハウス」活用実証実験について報告するため、市長を表敬訪問されます。

- 日時 令和7年8月20日（水）11時05分から
- 場所 和歌山市役所本庁舎4階市長室
- 訪問者 UR都市機構 西日本支社
支社長 高原 功（タカハラ オサム）様
副支社長 村井 剛（ムライ タケシ）様
都市再生業務部担当部長 細田 知明（ホソダ トモアキ）様
都市再生業務部担当課長 吉田 英雅（ヨシダ ヒデマサ）様
- 次第 出席者紹介
挨拶（和歌山市長、UR都市機構西日本支社長）
UR都市機構からの報告
写真撮影
- 報告内容 「北ぶらくり丁商店街における「インフラゼロハウス」活用実証実験について」

【事業概要】

官民連携したまちづくりに積極的に取り組む和歌山市で、イベント時・平時において「インフラゼロハウス」を活用した空間整備・災害対応・環境配慮に関する検証を実施し、その結果をまちづくりの連携・協力に活かします。これは、UR都市機構と株式会社 MUJI HOUSE が、まちなかで**全国初**となる「インフラゼロハウス」を活用した共同実証実験として実施します。

設置箇所：北ぶらくり丁商店街東側の一角

設置内容：「インフラゼロハウス」2台（リビング棟・ユーティリティ棟）

設置期間：令和7年10月12日（日）～同年12月末予定

(検証内容)

1 災害対応・環境配慮に資する検証

発電・蓄電、バイオトイレ、水循環といった災害対応にも有効な環境配慮機能を活用し、イベント時・平時利用の中で様々な検証を実施

活用イメージ：環境負荷低減に係る企画（日照調査、廃品再生ワークショップ、SDGs検討等）、災害時活用イメージのアンケート調査、視察・意見交換会等

2 暫定整備した空間のイベント時・平時利用

インフラゼロハウスを用い暫定整備した空間をイベント時・平時ともに利用し、今後の空間整備や地域のまちづくり活動に提案

活用イメージ：北ぶらくり丁商店街と連携したイベント活用、道路整備を想定した空間整備策検証等

3 持続的なまちづくり活動につながる利用

地域の担い手やまちづくり活動に意欲のある人がチャレンジできる場として利用し、商店街への定着や魅力向上につながる機会を提供

活用イメージ：アンテナ・ポップアップショップ利用等



(株)MUJI HOUSE 提供 (左:ユーティリティ棟 右:リビング棟)



(株)MUJI HOUSE 提供



【位置図】



UR 都市機構提供

【インフラゼロハウス外観画像】



(株) MUJI HOUSE 提供

「インフラゼロハウス」とは・・・
無印良品の家などを展開する、株式会社 MUJI HOUSE(東京都文京区)が開発。
バイオトイレや太陽光発電、蓄電池等を実装し、既存のライフラインとオフグリッドでも利用できるトレーラーハウス。

【お問い合わせ先】

- ・実証実験全般に関すること

UR 都市機構 西日本支社 都市再生業務部 担当 吉田・濱口 (電話) 06-4799-1571

- ・インフラゼロハウスに関すること

株式会社 MUJI HOUSE 広報担当 松枝・矢吹 (電話) 03-6699-7400